

今年も残すところわずかとなりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。
今後、寒さもいっそう厳しくなっておりますので、健康に十分ご留意
ください。



表彰紹介

永年にわたる補導委員としての功績が認められ、次の方々が表彰を受けられました。おめでとうございます。（敬称略）

日本善行会表彰<銅章>（22年）11月30日

各務 英雄（那加一）



各務 様

岐阜県環境生活部長表彰（10年）11月30日

足立日出男（蘇原二）

岐阜県青少年育成県民会議会長表彰（5年）11月30日

宇野澄美夫（那加三） 水野 香織（川島）
金森 幸雄（鞆沼三） 西田 幸二（蘇原二）
水野 満夫（鞆沼二） 玉木 和夫（陵南）



金森 様 水野 様 宇野 様
西田 様 玉木 様 足立 様

各務原市教育委員会表彰（6年）10月24日

田中 時雄（那加二） 北野 憲弘（那加二）
横山 正弘（蘇原一） 小川 寿一（蘇原二）
林 恒好（那加二・令和5年度末退任）



横山 様 林 様 田中 様

各務原市青少年育成市民会議表彰（4年）10月24日

古川 健二（那加二） 尾関 智也（川島）
波多野優子（川島）
渡邊 拓二（尾崎・令和5年度末退任）



波多野 様 古川 様

祝 令和6年度日本善行会特別表彰「善行金章」を受賞された 永井紀美子様（稲羽東）が、「長寿善行者の集いの会」（10月10日・木、赤坂東邸）に招待され、秋篠宮皇嗣殿下からご接見の栄誉を賜りました。

※ 一般社団法人「日本善行会」

日本全国でボランティアによって行われている様々な善行活動について、その行為を称えた表彰を行うとともに、善行精神の普及、善行実践活動を通じて明るく住みよい社会環境づくりを目指す団体

今年度の少年センターの管外研修は、補導委員29名が参加され、大津少年センターを訪問しました。活発な意見交換もなされ、大変有意義な研修となりました。



『滋賀県大津少年センターへの管外研修に参加して』

中央中学校区補導委員副代表 伊藤 浩

10月3日(木)、早朝から雨天でしたが、午前7時30分、総勢33名で大津に向けて出発しました。

研修の冒頭では、大津少年センターの今井所長様から事業内容及び少年補導委員の活動について説明を受けました。

大津少年センターは、中部・南部の12中学校区を担当し、少年補導委員は180名みえるそうです。その取り組みは、少年センター主催の街頭補導活動(各月2~4週目の金曜日に重点地区の大型量販店を巡回)に加え、夏祭り・花火大会等地区行事の補導、各地区で計画し実施している補導活動などです。

次に、別の事業で、滋賀県健康福祉部子ども・青少年局が行う「あすくる」(青少年立ち直り支援センター)の説明を受けました。「あすくる」とは、非行等の問題を抱え、自分の居場所もなく悩み苦しんでいる少年を支援する事業です。支援コーディネーター、教員、心理臨床担当職員、少年センター職員、青少年支援サポーター・支援協力企業・NPOがスタッフとなり、5つのプログラム(自分探し支援プログラム、就労支援プログラム、家庭支援プログラム、生活改善支援プログラム、就学支援プログラム)を通して、立ち直りを支援しています。

「あすくる」の特筆すべきは、良好な家庭環境を整えるための支援、生活リズムを整えるための支援、就学・就労の先に立つ環境整備が充実している点です。挨拶やゴミ持ち帰りなど、当たり前の事が出来るようになる支援、簡単な遊びを通じて本人の本音を聴く支援も印象的でした。また、幼児期の体験がいかに大切であるかも感じました。信頼できる家族や人との出会い・繋がり・支えがあってこそ健全に生きられる、と思いました。

質疑の場面では、大津の具体的な補導活動についての質問がありました。少年補導委員寺田会長から、地区別街頭補導は全25地区ごとに補導のコースや時間帯を決定し、活動後少年センターにFAX報告する、と説明を受けました。また、令和5年度街頭補導実績は、年間補導延べ回数452回、参加補導委員延べ数3527名、愛の声掛け969件と説明されました。

休憩後、各務原市補導委員が3グループに分かれ、寺田会長、脇谷・加藤両副会長と意見交換を行いました。補導活動しても若者を見かけないのはご当地大津市も同様らしいことや、居場所がない若者がネット上に心の居場所を求めて、SNS を介しての犯罪行為等が社会問題になっていることなど、熱心な交流がなされました。



「挨拶や愛のひと声、見守りが抑止になり、子どもたちに希望を与えるために補導活動を楽しんでやっている」という寺田会長のお言葉が印象的でした。

研修終了後33名を乗せたバスは、1時間程で長浜市の昼食会場へ到着。昼食後は同市の黒壁スクエアを各自が自由散策し、その後帰路につきました。

今回、温かく受け入れていただいた大津少年センターの職員の皆様、管外研修を企画・運営いただいた各務原市少年センターの方々に敬意と感謝申し上げます。ありがとうございました。

補導委員交流会 11月8日

浅野市長様、丹羽教育長様、横山事務局長様を来賓にお迎えして、48名の皆様に開催されました。

初めに、本年度代表幹事 林代表(中央中校区)が、声かけの実践を通して地域の子どもの心温まる体験を交えて挨拶されました。

続いて、日本善行会より特別表彰善行金章を受賞された永井紀美子様、銀章を受賞された五嶋正秀



様・棚橋優様、秋季善行表彰銅章を受賞される各務英雄様が紹介されました。永井様からは「家族の応援や、校区のみなさんの協力があったことができて良かったです。また、『長寿善行者の集いの会』に出席して他県の補導委員とも交流でき有意義でした。」と、五嶋様からは「皆さんと仲良く活動ができたことが一番よかった。子どもたちの明るい笑顔が『がんばること』の原動力になっています。」とお言葉をいただきました。

交流の場では、それぞれの校区の情報交流や日頃の補導活動の思い出を出し合いながら、楽しく有意義なひとときを過ごすことができました。

幹事校区の中央中校区、会計の鶴沼中校区の皆様には、当日の会場のお世話等、ご尽力をいただきありがとうございました。



第2回各務原市学校警察補導連絡協議会 11月25日

各務原警察署生活安全課長、教育長、担当校長、主幹教諭、小中特支高等学校の生徒指導主事、市教委指導主事、センター職員が出席し、児童生徒の現状の情報交流が行われました。

各務原警察署生活安全課長からは、管内の少年非行の現状についての説明があり、教育長からは、生徒指導は学校の屋台骨であり、非常に大切であること、そのために、「初期対応」「報連相(報告・連絡・相談)」の2点が重要であるとの話がありました。

少年センターからは、補導委員は、補導巡回時に会った子どもたちや保護者に積極的な愛の声かけを通して、丁寧な見守り活動を行っていること、また、子どもたちも気持ちよい返事を返してくれたり、素直に行動したりと、好ましい関係づくりができていることなどを報告しました。



トピック

自転車🚲「ながら運転」法律で禁止

センターだより第4号のトピックでお知らせしましたが、いよいよ、11月1日から自転車の「ながら運転」が法律で禁止されました。

「ながら運転」とは、自転車の運転中に携帯電話を使用したり、画面を注視したりすることで、これからは、6か月以下の懲役又は10万円以下の罰金罰則が科せられます。

また、自転車での「酒酔い運転」は以前から罰則の対象でしたが、今後は「酒気帯び運転」も罰金が科せられるようになります。加えて、「酒気帯び運転」のおそれのある人に酒類や自転車を提供した人も罰金が科せられます。

※NHK ニュース(11/1)参照

※補導活動の際に青少年の「ながら運転」を見かけた時は、積極的に声かけしていただけたらと思います。

《 9 ～ 11 月の補導活動より 》(補導日誌から抜粋)

那加中校区

プリニーの総合体育館の事務の方から、最近、敷地内でタバコを吸っていたり、夜間に裏の駐輪場付近で悪さをしたりする子どもが増えて困っているとの情報提供がありましたので、初めてその箇所を巡回しました。現場に行ったら、そこには大きな警視庁のポスターが貼ってありました。この貼り紙の付近は建物の陰で登り口階段もあり、隠れて遊べるスペースが多くあるので子どものたまり場となり得ます。

前回までは体育館東側のロータリーでローラースケートで遊んでいないか、落書きがされていないかと巡回していましたが、その階下までは巡回していませんでした。今回の巡回では子どもがいませんでしたが、今後は重点巡回地区とするよう那加中校区補導委員の LINE に貼り紙の写真を掲載して伝えていきます。

桜丘中校区

市民公園にてキッチンカーのコンテスト最終日が行われていました。多くの方が参加されていて、家族連れも多かったです。

今日は、那加二小の先生も巡回担当でしたので、小5、小6の女子達が先生を見つけてついて来たり、話しかけに来てくれたりしました。ああ、この子たちは那加二の子なんだ～という感じで、普段ならば直接は話ができない子たちとも触れ合い、声をかけられたので、嬉しく思いました。



稲羽中校区

日曜日の夕方ということもあり、子どもだけで遊んでいる姿は殆ど見られなかった。

気温が多少低くなってきたので、小学校の校庭で野球の練習をしている子がいた。

16時頃は、浄水公園や青少年グラウンドで、スポーツ少年団等の練習や試合などに参加している子、家族が多かった。

川島中校区

気温が先週より低くなってきたため、公園や学校の運動場で遊んでいる人が増えてきたように感じた。

小中グラウンドでサッカーをしている中学生がいた。日が暮れてきたら帰宅するよう声をかけた。

スポーツ公園でゲームをしている小学生がいた。安全に帰宅するよう声をかけた。

川島小学校玄関付近やライフデザインセンターにたばこの吸い殻やお菓子などの食べ物のゴミが落ちていることが多くなってきた。気温が低くなってきて、外の人が集まっていることが増えているように感じる。学校から警察にも相談していく予定である。

鵜沼中校区

午後4時頃、鵜沼西町交番の駐車場で、小学生(高学年)の男の子が、落とし物を届けようとしていましたが、あいにく、お巡りさんは不在でした。各務原署へ TEL をしました。男の子は交番で待ちますと言ってくれ、私達は巡回へ出かけました。後でお巡りさんに聞きましたところ、無事対応できましたとのことで、安心しました。

今日は天気も良く、野外で遊びやスポーツを楽しむ子ども、親子が多くいました。久しぶりに多くの子に声かけができました。

羽場公園の時計が止まっていたので、子どもたちに現在時を伝えて別れました。



緑陽中校区

各公園では、気候が良くなったおかげでしょうか、子ども達が元気よく野球、サッカー、追いかけっこ等をして楽しんでいました。こちらから挨拶すると、みんな大きな声で挨拶してくれて気持ちよかったです。

宝積寺北公園では、公園の際まで猪が出没した形跡があり、危険を感じました。

桜木町公園と山崎南公園は草が生い茂り、虫が多く、遊びにくそうでした。

蘇原中校区

歩行者天国の補導活動と清掃活動を、蘇一、蘇二の青少年育成市民会議の有志と共に行いました。

昨年に比べ、21時を過ぎたら帰るように、とのアナウンスが無く、中学生や高校生が、だらだらと居座っていました。清掃活動をしながら早めに帰宅するよう声かけを行いました。ゴミも声かけも多すぎたので人数のカウントができませんでした。

22時を過ぎてからも中学生や高校生に声かけをしました。会話しながら素直に帰宅してくれたので補導とはしませんでした。今年は昨年に比べ少し治安が悪かったような気がします。



中央中校区

公園を主に巡回したが、各公園共、4～5人の家族連れで楽しそうであった。

空の森運動公園は15～20才位の人のチームがサッカーの練習をしていた。その駐車場には、若者が、カメラを持ってたむろしており、航空機の撮影に訪れているようであった。

浪漫遊は、相変わらず多くの親子連れでにぎわっていたが、問題になる様な事はなかった。

アピタのゲームコーナーは、3組位の親子しかいなく、問題なし。